

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
エンドオブライフケア管理学特論	1	前期	2	講義 30時間
担当教員	休波茂子、足立智孝、渡邊八重子、高橋静子			
授業概要	EOL ケアを提供するナースプラクティショナーが、専門的視点に基づきリスクを予測し対象及びその家族や関わる医療従事者の外的内的環境を整えることができるような体系的な取り組みや理論と対策を学修する。対象およびその家族や医療従事者が身体的にも精神的にも脅かされたり消耗したりすることのない状態を保証するために、医療倫理、安全管理とリスクマネジメントに関する高度な実践方法について学修する。そのうえで、対象にとって最適で最善なケアを効果的、効率的に提供するための提供体制を構築しケアの質向上に向けた方略的な実践活動について学修する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高度実践看護師の活動の基盤となる組織論、組織行動学について理解する。</li> <li>2. 医療倫理、安全管理とリスクマネジメントに関する高度な実践方法について理解することができる。</li> <li>3. エンドオブライフケアのプロセスにおける本人とその家族のケアの質向上に向けた組織的課題と多職種との連携・協働について評価方法を説明できる。</li> </ol>			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1-2	組織とマネジメント	休波	
	3-4	組織文化と医療文化、組織開発の理論と実際 高度実践看護活動における組織開発の理論と実際 組織論、リーダーシップの理論	休波・渡邊	
	5-6	医療安全とリスクマネジメント 組織における安全文化の醸成と看護ケアの実践	高橋	
	7-8	エンドオブライフケアのプロセスにおける本人とその家族の ケアの組織的課題 エンドオブライフケアのプロセスにおける多職種との連携・協働における 評価と実際	休波・渡邊	
	9-10	医療倫理：看護師の倫理的課題 看護管理者の役割と倫理的リーダーシップ	足立	
	11-12	エンドオブライフケアに関する意思決定 看護管理者の意思決定プロセスモデル	足立	
	13-14	エンドオブライフケアに関する組織倫理の研究動向	足立	
	15	事例検討：エンドオブライフケアに関する意思決定プロセスモデルの活用	足立	
教科書	特になし			
参考書	<p>リチャード・L. ダフト：(高木晴夫訳)組織の経営学、ダイヤモンド社、2016.  武村雪絵編集：看護管理に活かすコンピテンシー、メジカルフレンド社、2014.  吉武久美子：看護者のための倫理的合意形成の考え方・進め方、医学書院、2017.  勝原裕美子：組織で生きる、医学書院、2016.  その他、必要に応じて紹介する。</p>			
評価方法・基準	事前学習(20%)、プレゼンテーション(40%)、討論の内容(30%)、レポート(10%)で評価する。			
事前・事後学習	事前に示した資料を読んでおくこと。事後には講義で学んだ技術を実習で応用してみる			